

令和5年度 江戸川区立葛西第二中学校 学校関係者評価 年度当初・中間報告書

学校教育目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自ら進んで学ぶ生徒になろう ・あたたかい豊かな心の生徒になろう ・健康でたくましい生徒になろう 	目指す学校像 目指す児童像 目指す教師像	生徒が喜んで活動し、一人ひとりの確かな学力や個性、社会性を伸ばし保護者・地域から信頼される学校 本校で学ぶことに誇りをもち、主体的に粘り強く、豊かな社会性や思いやりをもった生徒 生徒一人ひとりの成長やそれを支える教育活動に最大の努力を惜しまない教師
前年度までの学校経営上の成果と課題	<成果> 新型コロナウイルスによる制約が余儀なくされるなかにおいて、本校の教育方針に準拠し、最大限の効果を得られる教育活動を全教職員が一体となって遂行することができた。 <課題> ①新型コロナウイルス以前の状況に戻していくにあたり、教職員の情報共有を円滑に実践する。 ②新校舎建て替えに準じた仮設校舎建設など、様々な変化のなかにおいても生徒の学びの機会を安定させるように、計画的な実践を図っていく。		

教育委員会 重点課題	<取組項目>・評価の視点	具体的な取組	数値目標	自己評価			学校関係者評価		年度末に向けた 改善策
				取組	成果	成果と課題	評価	コメント	
学力の向上	<学力の向上> ①授業改善の推進、学習の基礎となる基礎・基本の確実な習得、家庭学習習慣に対しての学校の組織的な対応による取組の実施・充実 ②「学力向上のための補習の充実」に向け、放課後補習事業における外部組織と連携した教育活動の充実	①全国学力、学習状況調査等における結果分析に基づいた指導の充実と、教員の学習指導力の向上を図る。 ②放課後補習教室の拡張事業(数学・英語)の充実を図るため、綿密に連携した指導実践を運用していく。	①-(1)全国学力調査の中央値において、東京都、全国数値を上回る。 ①-(2)英検2回以上、漢検2回以上、教検2回の校内会場での実施。 ②-(1)全国学力調査を活用した課題の分析を年間1回以上実施し、放課後補習授業の充実に活用する。 ②-(2)130回以上の放課後補習授業の実施						
	<読書科の更なる充実> ①読書を通じた探究的な学習の実施・充実 ②図書館を活用した、探究的な学習(調査、調べ学習、体験活動、討論等)の実践	①江戸川つ子 読書科コンクールの参加と、ピピリオパールの充実実践。 ②図書館を活用した、資料の収集の仕方や記録の取り方の指導と自己の考えをまとめ表現する方法の指導実践	①-(1)各学年年間1回以上のピピリオパールの実践 ①-(2)年間100日を目指した昼休みの図書館開放 ②-(1)2週間に1回の区立図書館と連携強化により充実した図書館を運営する。 ②-(2)図書館を活用した校外学習の調べ学習などを年間1回以上行う						
体力の向上	<運動意欲や基礎体力の向上> ①令和5年度、令和6年度東京都体育健康教育推進校における研究・研修の計画的実践の充実 ②平常授業における保健体育での補強運動の充実や休み時間における主体的な運動意欲の向上	①令和5年度、令和6年度東京都体育健康教育推進校に係る校内研修を充実させる ①令和5年度、令和6年度東京都体育健康教育推進校に係る授業研究を充実させる ①外部の講師を招いた研修の充実を図る。 ②夏季以降における仮設校舎に伴う運動施設の縮小の対策を考慮したうえで、充実した運動時間を	①-(1)研究に関わる研修を年間3回以上実施する。 ①-(2)大学教授を招いた研修等を年間3回以上実施する。 ①-(3)研究に係る研究授業、授業兼研究を年間3回以上実施する。 ②-(1)仮設校舎における敷地制限があるなかでも、体力向上に向けて、生徒が意欲的に活動できる環境整備を検討し、実践する。						
共生社会の実現 に向けた教育の 推進	<特別支援教育の推進> ①ユニバーサルデザインの視点を取り入れた園に応じた指導の実施・充実 ②生徒を支援するシートの作成を充実 ③エンカレッジルームの活用促進 ④副籍交流、交流及び共同学習の実施・充実	①校内特別支援部会の充実や、職員会議等での情報共有を活発化させ、授業ユニバーサルデザインの整備を整える。 ②ICTを活用した支援シート等の充実を図る。 ③放課後の個別支援や不登校生徒の面談等で、エンカレッジルームを活用していく。 ④鹿本学園との間接交流の充実を図る。	①-(1)ユニバーサルデザイン等の研修を1回以上実施する。また、資料を作成し通年で使用していく。 ①②③校内特別支援部会を年間で30回以上実施していく。 ④鹿本学園との情報交流を適宜実施していく。						
	<特別支援教室拠点校として実践> ①他校へ発信する本校の実践モデルケースの充実	①特別支援教室拠点校として、本校の取組を通信という形で発信していく。	①各学期で通信を1通以上配信、配布する。						
子どもたちの健 全育成	<子どもたちの健全育成に向けた取組> ①不登校対策の実施・充実 ②ヤングケアラーの理解を深めた教育相談の強化 ③スクールカウンセラーによる1学年生徒全員面接の充実 ④hypoer-QUの活用	①校内不登校対策委員会と校内特別支援部会の連携を図り、不登校対策の実施を図っていく。 ②ヤングケアラーにたいする全員面接の実施 ③7月までにスクールカウンセラーによる1学年生徒対象の全員面接を実施する ④hypoer-QUの実施とデータ分析を生かした指導の充実を図っていく。	①教育研究所との連携を密にし、年間30以上の生活指導における情報交換を行う。 ②ヤングケアラーに対する全員面接を年間1回以上実施する。 ③スクールカウンセラーによる全員面接を年間1回以上実施する。 ④hypoer-QU調査を年間2回実施する。						
	<学校と家庭、地域、関係機関との連携> ①学校評議員会をはじめとする、関係機関と充実した年間の指導計画の作成。	①学校評議員会において、学校関係者評価の内容について検討し、実践内容を深めていく。	①学校評議員会を年間3回以上実施する。						
地域に広く開か れた学校(園)の 実現	<自校(園)の取組の積極的な発信> ①学校(園)ホームページの充実等 ②学校(園)公開の実施・充実	①学校生活や食育に係る給食の情報など、学校生活を積極的に発信していく。 ②土曜日授業を学校公開とし、多くの保護者に来校してもらえよう。実施案内をふくめ、HPなどで情報を発信していく。	①年度内の学校HPアクセス数を15000達成できるように充実させていく。具体的な数値目標としては13000アクセスを目指す。 ②年間3回以上の土曜日を公開授業とし、多くの保護者の理解と協力が得られるようにする。						
	<学校関係者評価の充実> ①教育活動の改善・充実に向けた学校関係者評価の実施	①学校関係者評価を学校評議員会で周知し、検討し深めた内容を学校HPに掲載していくことで、多くの保護者に情報を伝えていく	①年間3回の学校評議員会の開催と、学校関係者評価を年間3回にわたりHPに掲載し、進捗状況を周知していく。						
特色ある教育の 展開	<愛校心を高める教育実践> ①葛西第二中学校で学ぶ事に誇りを持ち、向上心と自立心を持った生徒の育成	①葛西第二中学校で学ぶ事に誇りを持ち、向上心と自立心を持った生徒の育成を「プライド8」とし、愛校心や自己実現に向けて行動できる生徒を育成していく。	①毎月1回以上の学校便り(芙蓉)を発行し、プライド8における取組等を伸長させる教育実践を図る。						
	<働き方改革プラン> ①学校経営支援を担う人材の活用と、適切な職務遂行の実践 ②関わりやすいPTA組織改革と取組み実践の見直し	①SSS(スクールサポートスタッフ)の人材を育み、教員の職務遂行を円滑にしている。 ②PTA組織の見つめなおしと、円滑な運営実施	①各学期に1回以上のSSSと管理職の情報交換会を行う。 ②PTA役員の人数を減らし、集まりも減らした運営を行う。						